

健康モーニング

2022 January

No.
96

発行所 ■ 一般財団法人 近畿健康管理センター
発行人 ■ 木村 隆
〒520-0812 滋賀県大津市木下町10番10号
TEL.077(525)3233

- 新年のご挨拶.....2
- 「KKCヘルスクラウドサービス MIRAI+」のご紹介.....3
- 四日市健診クリニックオープン.....4,5
- 新大阪健診クリニックリニューアルオープン.....6
- 新商品「あすからだチェック」のご紹介.....7
- 研究活動.....8-10
- 社内外活動.....11
- あなたの街で健康づくりをしっかりサポート.....12

KKC 近畿健康管理センター



健康モーニング 新年2022年



理事長 木村 隆

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれてはお健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年後半にはコロナワクチンの普及、人流抑制など予防対策の徹底等で感染者数が低水準で維持されておりますが、第6波も予想されていることから油断はできません。

引き続き新型コロナ対策を維持しつつ、with/afterコロナを見据えた新常態への対応を進め、社会経済活動を活性化していくことが重要となります。

KKCでは昨年、新常態に即した新しい健診スタイルとして、健康管理クラウドサービス「MIRAI⁺」をリリースいたしました。お客様の健康管理の生産性向上、資源ロスの削減を実現する「三方よし」のプラットフォームとして、今後、必要な機能強化を行ってまいります。

持続可能な開発目標(SDGs)においては、事業を通じて「健康」「環境」「地域」「人財」4つのテーマで目標及び取組みを策定し、昨年公開いたしました。

本年は、それぞれの取組みを着実かつ発展的に展開することでイノベーションにつなげ、持続可能な社会の実現に向け貢献を果たしてまいります。

また、昨年9月の新大阪健診クリニックリニューアルオープンに続き、本年1月、三重県四日市市に9番目の健診クリニックをオープンいたします。充実した設備と心からのおもてなしで皆様をお迎えいたしますので、ぜひご利用ください。

KKCは今年、創立から50年を迎えます。「人生100年時代」において、次世代に向け社会になくてはならない健康管理機関として「診る健康から創る健康へ」をキーワードに生涯健康管理のパートナーとなれるようなサービスを提供してまいります。

本年も引き続きご支援とご愛顧を賜りますようお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

「KKCヘルスクラウドサービス MIRAI+」のご紹介



このたびKKCでは、健康診断の予約から結果発行・管理までのプロセスをシームレスに展開できるクラウド型の健康管理システム「KKCヘルスクラウドサービスMIRAI+」をリリースいたしました。今回はMIRAI+を構成する5つのサービスをご紹介します。

Web 健診シフト

健診のシフト組みを自動化！
受診者への連絡も自動メールで楽ラク

- ✓シフト組み作業からの解放
- ✓受診者への通知作業の効率化
- ✓テレワークでも作業可能 など



Web 問診(出張型健診)

もう紙の受診票は不要！
事前のWeb問診でスムーズな健診を

- ✓健診受付時間の短縮
- ✓案内メールで未回答を防止
- ✓受診票配布の手間を削減 など



クラウド健診

測定データをデジタル化しクラウドへ！
ペーパーレスにより利便性向上

- ✓健診時間の短縮
- ✓リアルタイムで測定結果を確認
- ✓未受診者の簡単チェック など



Web 健診結果(受診者用)

結果の通知も安全なクラウドで！
各自のスマートフォンやPCから確認可能

- ✓結果発行の早期化
- ✓クラウド上で安心安全に結果を管理
- ✓ペーパーレス化による環境負荷低減 など



Web ADVICE(担当者・産業医用)

従業員の健康をクラウドでまとめて管理

- ✓産業医がいつでもどこでも健診結果の判定、コメント入力が可能
- ✓健診結果を自由に検索・抽出ができるため有所見者フォローも楽ラク
- ✓多彩な集計機能で貴社の健康課題を素早く把握 など



2021年8月に「Web健診シフト」、同11月に「Web健診結果」と「Web ADVICE」をリリースいたしました。2022年には「Web 問診」、「クラウド健診」がリリースされ、すべてのサービスが揃う予定です。

MIRAI+は健康管理業務の支援に特化し、ユーザーの使いやすさを追求したサービスです。新常態に即した「三方よし」のサービスを通じ、未来に向けてプラスの価値を広げていくことで、お客様と社会の期待に応えてまいります。どうぞお気軽に各事業部営業グループへご用命ください。

詳細はこちらからご覧ください。 URL⇒<https://www.zai-kkc.or.jp/company/miraiplus.php>



※MIRAI+製造元：株式会社マーストーションソリューション

四日市健診クリニックオープン

**KKC ウェルネス
四日市健診クリニック**

OPEN!

2022年
1月14日(金)
オープン!

ロビー

ラウンジ

レディースゾーン

X線エリア・中待合

検査室待合

**健康診断・人間ドックを中心としたクリニックが
四日市日永西にオープン!!**
充実した設備と心からのおもてなしで
皆様の生涯健康管理をサポート!!



ロビー



ラウンジ

KKCウエルネス四日市健診クリニック 2022年1月14日 新規オープン!

このたび三重県四日市市に新しい健診クリニックを開設いたします。

「KKCウエルネス四日市健診クリニック」は1階と2階で幅広い健康管理・健康づくりメニューが受診できる施設です。

1階のエントランスは受付スペースのほか、非接触型の検温器・受付発券機、セルフレジ、案内モニターを設置し感染症に配慮した安心・安全な環境を整えました。

基本検査は受付後、エスカレータで2階にあがって頂きます。フロアは一般検査エリア・人間ドックエリア・レディースエリアなど検査目的別に分かれています。

ICカードを利用した受診スタイルは施設内の各種検査機器と連動しており、健診データのスムーズな集約や検査漏れ防止に役立てることでお客様が快適にご受診頂ける新システムを採用しました。

2階にはリラクゼーションエリアを設置し、待ち時間にご利用頂けるなど特別なお時間を過ごして頂ける空間です。

健診・検査結果は、『マルチモダリティビューシステム』を駆使し人間ドックご受診者の当日面談では、大型ビジョンを活用し画像診断や血液検査結果について医師から説明をさせていただきます。

なお、人間ドックをご受診頂いたお客様には、自然光を多く取り入れた明るいラウンジでお食事をご用意しております。

また、巡回健診の拠点となり北勢エリアで利便性の高い健診を提供するなど地域住民の皆さまの健康づくりのパートナーとなれるような健診機関を目指して参ります。



CT検査室



婦人科待合

新大阪健診クリニックリニューアルオープン

2021年9月2日にKKCウエルネス新大阪健診クリニックがリニューアルオープンいたしました。

定期健康診断専用フロアを増床、また内視鏡検査室の増設により人間ドック他各種検査のご予約がとりやすくなりました。



さらに人間ドック面談室、保健指導室を検査フロアと分離し、リラクゼーションルームを新設いたしました。検査フロアと空間を分けることで、ゆったりと快適なつろぎ時間を提供いたします。

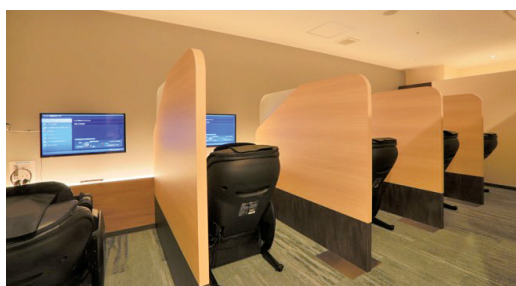
また定期健康診断専用フロアでは、Web問診やセルフレジの導入に加え、基本検査項目(計測・視力・血圧)の自動測定機器によるセルフ健診を導入し、施設滞在時間の短縮による密の回避・接触機会の低減に取り組んでいます。



定期健康診断専用フロア



内視鏡検査室



リラクゼーションルーム



セルフレジ

そして本年4月より、同フロアに社会保険診療施設を開設いたします。再検査・精密検査などの健診結果を生活習慣の改善や治療につなげていけるようお客様一人ひとりの「生涯健康づくり」を支え、地域社会に求められる企業として、予防医療サービス事業を展開してまいります。

最後になりますが、このたびリニューアルオープンができましたのも、ひとえに皆様方のお引き立ての賜物と一同御礼申し上げます。これからも「安心・安全・信頼」をお届けできる施設であれるよう邁進していく所存です。皆様のご受診を心よりお待ちしております。

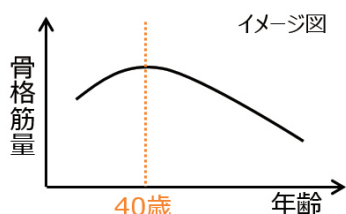
リニューアルオープン紹介動画を掲載しております。こちらからご覧ください。

URL⇒ <https://www.zai-kkc.or.jp/clinic/osaka/outline/>



新商品「あすからだチェック」のご紹介

人生100年時代においてフレイルの予防が非常に重要だといわれています。また、職域においても高齢化が進む中、転倒災害が課題となっています。現在の定期健康診断の項目のみでは、身体的フレイルに関連する筋機能を評価することは難しく、この度、立命館大学スポーツ健康科学部真田樹義教授に監修いただき「あすからだチェック」をリリースいたしました。



筋肉量は40歳前後でピークに達し、その後毎年1~2%ずつ減少していくため、「サルコペニア」は40歳から進行が始まります。

つまり、40歳以上では、メタボリックシンドロームだけでなくサルコペニアも健康課題となるのです。

※「フレイル」とは加齢により心身が老い衰えた状態のこと。「サルコペニア」は加齢や疾患が原因で筋肉量や筋力が低下した状態のこと。「サルコペニア」は「フレイル」の要因のひとつです。

あすからだチェックで今のあなたの「からだ」を評価

問診や筋機能測定から「身体的フレイル」「サルコペニア」を評価します。

そして体脂肪測定から脂肪のタイプを評価し、筋機能評価とあわせておすすめの運動プログラムをご提案します。

筋機能評価	体脂肪評価
・筋肉量の測定(体組成測定) ・筋力の測定(握力測定) ・パフォーマンスの測定(歩行速度の測定)	・内臓脂肪の評価(腹囲測定) ・体脂肪率の測定(体組成測定)

あすからだチェック

近畿 太郎

測定日(予定) 2021年10月10日

性別 男

年齢 40歳

身長 170cm

体重 70.0kg

体組成測定結果

筋量 8.60kg/m²

筋力 25.0kg

パフォーマンス 1.30m/秒

体脂肪 30.0%

総合結果

サルコペニア・フレイルに関する項目(筋量、筋力、パフォーマンス)を総合的にみると、良い状態を保つ事ができています。この状態を維持していくことが重要です。筋量は年齢により低下する傾向がありますが、低下のペースを遅く抑えることが可能です。定期的な運動習慣がある場合は、今後も筋量の低下を抑制できる可能性があります。運動習慣がない場合は、あすからだチェックの結果を参考にしてください。また、筋量低下には、食生活、運動以外の生活習慣も大切です。健康づくりの専門家(保健師、管理栄養士、健康運動指導士等)に相談してください。

以上からあなたにおすすめの運動コースは...

燃やそう脂肪 コース

サルコペニアの評価

重度サルコペニア・サルコペニア・非該当

身体的フレイルの評価

フレイル・プレフレイル・健康

「からだレベル」で今のあなたの筋機能を分かりやすく評価



※からだレベル「★」は、サルコペニア診断基準 AWGS2019を基準としています。

からだレベル「★★★」は、加齢による機能低下の影響がない若年者の値を基準としており、よりよい状態であることを示しています。

からだレベル「★」から「★★★」の間の場合、加齢等で機能が一部低下している可能性があります。

あすからだチェック結果のほか、体組成測定結果と各運動コースおすすめエクササイズのパフレットをお渡しします。

筋機能と体脂肪の評価から今のあなたに適した運動プログラムをご提案！

「あすからだチェック」は下記にて実施できます。

- ・KKCウエルネス四日市健診クリニック
- ・巡回型健診 ※定期健康診断と同時実施も可能です

健康経営推進の一環として、安全衛生イベントとしていかがでしょうか。詳しくは各事業部営業グループへご用命ください。

第62回日本人間ドック学会学術大会

第62回日本人間ドック学会学術大会にて3題の演題発表を行いました。

演題番号：A-27-05

睡眠と生活習慣病の関連性を検討する後向き研究

○長井 悦子¹、戸田 恵美¹、今西 翠¹、林 博子²、澤井 宏文¹

(1：一般財団法人近畿健康管理センター 大阪事業部 2：一般財団法人近畿健康管理センター 総合企画本部IT推進部)

【目的】睡眠不足は高血圧、糖尿病などの生活習慣病や体重増加との関連があることが指摘されている。当センターの人間ドック受診者において、睡眠時間と検査項目の関連について検討する。

【対象と方法】対象は2014年4月から2020年3月までに近畿健康管理センター大阪事業部でドック健診を5回以上受診された男性のうち、高血圧、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、虚血性心疾患、脳梗塞の治療中または抗血栓治療中の例を除く1172人で、年齢は27-74歳で中央値47歳であった。

睡眠時間は、6時間未満が5回以上と6時間以上のみの2群に分類し、BMI、血圧、脂質(LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪)、肝機能(AST、ALT、 γ -GTP)、クレアチニン、耐糖能(空腹時血糖、HbA1c)、尿酸との経年的変化について検討した。

【結果】6時間未満の睡眠を継続した群では、6時間以上の睡眠を継続した群に比べて、BMIと空腹時血糖、HbA1cの増加が目立った。また、6時間未満の睡眠を継続した群のうち、飲酒習慣がある例ではBMIが、さらに毎日の飲酒習慣がある例は空腹時血糖とHbA1cが増加する傾向を認めた(線形混合モデル)。

【結論】短時間睡眠を継続している例では、BMIや耐糖能異常をきたすリスクが高く、飲酒習慣によってさらにリスクを高める可能性があることが示唆された。

演題番号：B-3-03

勤労者の各年代における行動体力の特徴および運動習慣の傾向について

○北川ひとみ¹、高力容子¹、中嶋花衣¹、名村紗希¹、西村明芳¹

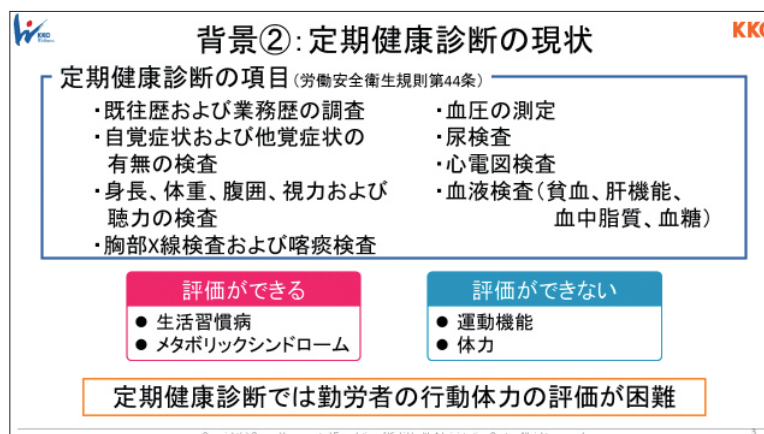
(1：一般財団法人 近畿健康管理センター)

【背景・目的】職場における高齢労働者の増加が見込まれるため、身体機能に関する評価の重要性が高まると考えられる。そこで本研究では、勤労者の各年代における行動体力の特徴および運動習慣の傾向を明らかにすることを目的とした。

【方法】対象は、2020年7月から同年8月に当施設において健康診断を受診し、研究への参加の同意が得られた463名(男性351名、女性112名、平均年齢 40.1 ± 13.3 歳)であった。評価項目は、運動習慣に関する問診、握力測定、2ステップテスト、生体インピーダンス法による四肢骨格筋量測定(四肢骨格筋指数[kg/m²] (Skeletal Muscle Mass Index : SMI))とした。

【結果】女性については各年代の人数に偏りが大きく適正な検定が困難なため、本発表では男性についてのみのみ報告する。年代別平均握力は、50代、60代、70代の各値と比較して30代が高値を示した($p < 0.05$)。年代別2ステップテスト結果は、60代と比較して20代および30代が高値を示した($p < 0.05$)。年代別SMIでは差は見られなかった。運動習慣の有無で2群に分け年代毎に比較すると、20代では運動習慣無し群と比較して運動習慣有り群において、身長およびSMIが高値を示した(ともに $p < 0.05$)。同様に歩行習慣の有無で2群に分け年代毎に比較すると、歩行習慣無し群と比較して歩行習慣有り群において、50代で体重および体格指数が低値を示した(ともに $p < 0.05$)。

【結論】勤労者に対して握力など行動体力の評価を行うことは有効であった。また行動体力の評価の中でも握力測定、2ステップテスト、SMI測定では評価の観点が異なるため、同時に測定することで個人に適した指導内容へ活かせることが示唆された。今後も研究を継続し、適切な行動体力の評価方法を検討していきたい。



演題番号：B-7-01

高ストレスにおける健診調査結果の検討

○前田 啓行¹、大西 大介¹、森田 泰人¹、岡村 浩樹¹、林 博子²、西川 政勝¹

(1：一般財団法人近畿健康管理センター 三重事業部 2：一般財団法人近畿健康管理センター 総合企画本部 I T推進部)

Ⅰ. はじめに

(一財)近畿健康管理センター (以下KKC) 三重事業部で収集した1年分のストレスチェック情報及び健診情報を基に、高ストレス者/非高ストレス者における健診データを解析し生活習慣との関連を検討したので報告する。

Ⅱ. 対象および方法

2018年4月から2019年3月までの1年間、KKC三重事業部においてストレスチェックを受診した者で、健診データが存在する15,231名であり、高ストレス者は2,125名、非高ストレス者13,093名であった。今回解析した項目は、健診データでは年齢・性別・病歴・自覚症状・BMI・血圧・血液生化学所見等、生活データでは飲酒・喫煙・運動(歩行)習慣・睡眠・食習慣等である。高ストレス群と非高ストレス群の二群間の比較は χ^2 乗検定等を用いて行った。

Ⅲ. 結果

高ストレス者2,125名(全対象者の14%)の性別では、男性1,409名(男性対象者の18.9%)、女性716名(女性対象者13%)であった。年齢ブロック別では高ストレス者の比率は30-34歳(対象者の18.6%)がピークであった。ほとんどの項目が高ストレス者比率9.5%~20.0%大差はなかったが、 χ^2 乗検定では「睡眠時間」($P=0.007$)と「睡眠休養」($P<0.01$)については、有意差を認めた。即ち、睡眠時間が短い場合及び睡眠休養が不十分の場合に高ストレス者が多かった。更に項目を詳細に分類し検討する必要がある。

Ⅳ. まとめ

分析の結果有意差が出たのは睡眠時間と睡眠休養の2項目だけであった。今回の結果を踏まえ、受診者のストレス軽減を目的として上記データを有効活用する必要があると考える。今後、縦断研究も含め更なる解析・検討を予定している。



ストレスと睡眠休養・睡眠時間

睡眠休養※	高ストレス	非高ストレス	合計
不十分	1542(22.8%)	5234(77.2%)	6776
十分	581(6.9%)	7859(93.1%)	8440

睡眠時間※	高ストレス	非高ストレス	合計
6時間未満	1081(20.5%)	4184(79.5%)	5265
6~7時間	922(10.9%)	7526(89.1%)	8448
7時間以上	121(8.0%)	1393(92.0%)	1514

※睡眠休養・睡眠時間のカイニ乗検定の結果 $p=0.001$ であり、共に有意差がありました。
睡眠時間と高ストレスの間に関連性があり、睡眠時間が不十分な人ほど、高ストレス者に多く認められました。



ストレスと体格指数、血圧、検査値データの関係

	高ストレス	非高ストレス		高ストレス	非高ストレス		高ストレス	非高ストレス
身長 (cm)	165.93±8.46 (2117)	164.19±8.63 (11579)	白血球数 (/cmm)	6173.08±1716.78 (1164)	6174.76±1728.55 (7008)	TG (mg/dl)	107.60±94.24 (1974)	106.93±92.72 (10896)
体重 (Kg)	64.75±14.26 (2124)	62.30±13.31 (11619)	赤血球数 (万/cmm)	483.00±44.82 (1974)	475.29±44.90 (10886)	LDL-ch (mg/dl)	115.09±30.47 (1974)	114.84±30.74 (10896)
BMI	23.43±4.47 (2117)	22.99±4.04 (11579)	Hb (g/ml)	14.51±1.52 (1974)	14.24±1.58 (10886)	HDL-ch (mg/dl)	63.03±15.97 (1974)	63.80±16.14 (10896)
収縮期 (mmHg)	122.53±15.11 (2124)	122.41±16.60 (11629)	血小板数 (万/cmm)	26.95±6.11 (368)	26.56±5.72 (2765)	AST (U/l)	22.95±10.67 (1975)	22.35±11.02 (10886)
拡張期 (mmHg)	73.40±11.73 (2124)	72.96±11.93 (11629)	血糖 (mg/dl)	107.60±94.24 (1974)	106.93±92.72 (10896)	ALT (U/l)	25.99±21.26 (1975)	23.66±19.80 (10886)
			HbA1c (%)	5.49±0.71 (1038)	5.49±0.67 (6606)	γ-GTP (U/l)	36.12±45.95 (1975)	33.47±47.09 (10886)
						クレアチニン (U/l)	0.74±0.14 (1082)	0.74±0.25 (5341)

第61回近畿産業衛生学会

第61回近畿産業衛生学会にて2題の演題発表を行いました(VOD配信)。

演題No.105

新型コロナウイルスパンデミックの定期健診結果への影響調査Vol.1(生活習慣等)

○山本裕美¹、森裕子¹、月見和広¹、嵯峨裕子¹、木村隆¹

(1:一般財団法人 近畿健康管理センター)

背景・目的 新型コロナウイルスパンデミック下、2020年以降、感染防止のためのフィジカル・ディスタンス、外出制限・自粛、経済活動の制限は人々の働き方や生活に大きな影響を与えている。そこで、働き方や生活の大きな変化による、生活習慣や自覚症状への影響を調査・可視化し、対応が必要な健康課題の有無をあきらかにすることを目的とした。

方法 一般財団法人近畿健康管理センター(以下、KKC)で2018年度、2019年度、2020年度にわたって連続受診された健診受診者の匿名化された問診情報を調査し・年度ごとの比較を行った。※倫理的配慮:本研究は、KKCにおける倫理委員会の承認を得て実施した。(承認番号2021-002)

結果・考察 新型コロナウイルスパンデミックによる影響では、2020年度、全体で、遅い夕食摂取者が減少し、睡眠で休養できている者が増加し、喫煙者の減少が進んだことがうかがわれた。飲酒は、「飲まない」者の割合が増加した。「飲みニケーション」機会の減少が推測された。一方で、2019年から「毎日飲む」者は増加継続していた。「ウチ飲み」が常習飲酒家や大酒家増加につながらないよう留意が必要である。男性は、2019年の働き方改革による労働時間減少が、食習慣改善や運動習慣づくりの契機となったことが、運動習慣者の増加や朝食抜き受診者の減少傾向からうかがえた。女性は2020年に運動習慣者増加がみられず、朝食抜き者と喫煙者の有意な減少がみられなかった。自覚症状は、2019年から継続して「なかなか眠れない」が増加傾向であった。外出自粛等による受診者への精神面への影響に留意する必要がある。女性では「不安感」「ゆううつ」が有意差はないが増加傾向であり、新型コロナウイルスパンデミックによる女性への影響調査をさらにすすめる必要がある。

演題No.106

新型コロナウイルスパンデミックの定期健診結果への影響調査Vol.2(検査値等)

○森裕子¹、山本裕美¹、月見和広¹、嵯峨裕子¹、木村隆¹

(1:一般財団法人 近畿健康管理センター)

背景・目的 新型コロナウイルスパンデミック下、2020年以降、感染防止のためのフィジカル・ディスタンス、外出制限・自粛、経済活動の制限は人々の働き方や生活に大きな影響を与えている。

そこで、働き方や生活の大きな変化による、健診データへの影響の有無を調査・可視化し、健康課題の有無をあきらかにすることを目的とした。

方法 一般財団法人近畿健康管理センター(以下、KKC)で2018年度、2019年度、2020年度にわたって連続受診された健診受診者の匿名化された検査データ等を調査し・年度ごとの比較を行った。食後受診および月経または妊娠中の受診者データは除外した。※倫理的配慮:本研究は、KKCにおける倫理委員会の承認を得て実施した。(承認番号2021-002)

結果・考察 2020年に男女とも収縮期血圧140以上受診者割合に上昇がみられ、新型コロナウイルスパンデミックによる生活環境変化と収縮期血圧上昇に関連する可能性が示唆された。男性は、2020年に肝機能検査高値者割合上昇がみられた。新型コロナウイルスパンデミックによる外出制限や自粛・経済活動制限によって飲酒量増加等の影響を受けた男性受診者割合が多かったことが推測される。BMI、LDL-ch、中性脂肪高値者割合上昇は2019年度にもみられたことから加齢等による検査値等の上昇がうかがわれた。収縮期高血圧および、男性の肝機能検査高値受診者の調査をすすめ、Withコロナ環境での効果的な保健指導等の検討・実践につないでいきたい。

第76回日本体力医学会大会

演題番号:L2-29

勤労者の行動体力の特徴および運動習慣との関係について

○名村紗希¹、北川ひとみ¹、高力容子¹、中嶋花衣¹、西村明芳¹

(1:一般財団法人 近畿健康管理センター)

【背景】 職域における高齢労働者の増加が見込まれるため、身体機能に関する評価の重要性が高まると考えられる。

【目的】 勤労者における行動体力の特徴および運動習慣との関係について明らかにすることを目的とした。

【方法】 対象は、2020年7月から同年8月に当施設において健康診断を受診し、研究への参加の同意が得られた男性351名(平均年齢40.1±13.3歳)とした。評価項目は、運動習慣に関する問診、握力測定、2ステップテスト、生体インピーダンス法による体組成測定とした。

【結果】 年齢階級別に比較すると、平均握力は50~70代と比較して30代で高値を示し、2ステップテスト結果は60代と比較して20~30代で高値を示した(いずれも $p < 0.05$)。四肢骨格筋指数(SMI)では年代間で差は見られなかった。全年代の結果を運動習慣の有無で2群に分け比較すると、運動習慣無し群と比較して運動習慣有り群において、SMIが高値を示した($p < 0.05$)。また、運動習慣と四肢Phase Angleとの関係について、運動習慣無し群と比較して運動習慣有り群において、右足、左足で高い傾向が見られた。

【結論】 勤労者において運動習慣はSMIの増加へ寄与し、また下肢Phase Angleとの関連が示唆された。今後、経年変化等について検討し、勤労者の行動体力の特徴を明らかにする必要がある。

社内外活動

49期 ダイバーシティ研究会

KKCでは、多様な人材が自分の成長を実感しつつ、働き続けることができる職場環境作りについて、事業部横断のメンバーが集い、研究会活動を実施しています。9月開催の活動では、Web会議ツールを利用して各事業部と本部を結び、育児・介護・短時間正職員等の両立支援制度に関する制度の勉強会と、参加メンバーによる意見交換会を実施しました。

今後も定期的に研究会を開催し、働きやすい職場環境作りに取り組んでまいります。



LGBT研修会

11月6日に三重事業部にてLGBT研修会を行いました。女性として生まれ、現在は性別を変え男性として生活されている外部講師に、現在までの葛藤や困ったことなど、経験談を交えてご講演いただきました。その後「LGBT研修を通じて感じた課題・問題点」と「従業員・お客様に対して今後取り組むべき内容」についてグループワークを行いました。



立命館大学 異分野・異世代セミナー

11月11日に立命館大学「異分野・異世代セミナー」にて課題提案企業として参加し、「KKCの健康経営推進」を提示しました。超創人材プログラム大学院生および立命館守山高校3年生の計60名程がグループに分かれて健康課題の分析や推進施策を検討し、12月9日に施策提案発表会が行われました。学生からのフレッシュで具体的な施策提案を活かし、より一層健康経営を進めてまいります。



滋賀県産業医会50周年シンポジウム

2021年度、滋賀県産業医会は創設50年を迎え、その記念イベントとしてシンポジウムを開催し、当センターから理事長の木村が登壇しました。今回のテーマは「ここが良かった、産業医」として、様々な経験を有された産業医による基調講演の後、参加者を交えた質疑応答が行われ大変盛況となりました。

末筆ですが、2021年7月3日滋賀県産業医総会のもと、当センター内に事務局移転が承認され、同事務局業務を遂行しています。滋賀県下の産業医活動を支援、精励する所存です。



KKCのSDGsオリジナルロゴマークができました。KKCは「健康」「環境」「地域」「人材」を柱として、SDGs達成に向けて活動を進めてまいります。



ミライの健康を創ろう
KKCはSDGsに取り組んでいます

診る健康から創る健康へ ●あなたの街で健康づくりをしっかりサポート●

KKC ウエルネス 東京日本橋健診クリニック



〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-14 アルゴ日本橋ビル1F
TEL **03-5500-6777** FAX **03-5500-6778**
●東京メトロ 日比谷線・東西線 茅場町駅(4b出口)より徒歩5分
●東京メトロ 半蔵門線・水天宮前駅(2番出口)より徒歩5分



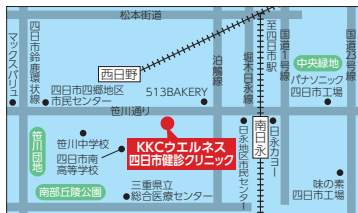
KKC ウエルネス 名古屋健診クリニック



〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル11F
TEL **052-331-2325** FAX **052-331-2327**
●地下鉄東山線・鶴舞線伏見駅(5番出口)より南へ徒歩5分



KKC ウエルネス 四日市健診クリニック



〒510-0891 三重県四日市市日永3丁目5番37号
TEL **059-253-7426** FAX **059-269-5588**
●四日市あすなろ鉄道八王子線「西日野駅」下車、徒歩6分
●四日市あすなろ鉄道内部線「南日永駅」下車、徒歩7分 ●三重交通バス「日永西」下車、徒歩すぐ



KKC健康スクエア ウエルネス三重健診クリニック



〒514-0131 三重県津市あかつた4丁目1-3
TEL **059-253-7426** FAX **059-253-7131**
●伊勢自動車道「芸濃インター」より車で10分
●近鉄「津駅」よりバス30分「あかつた」下車



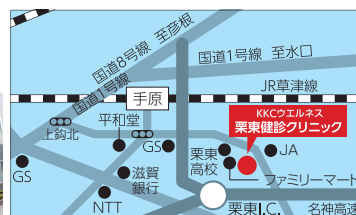
KKC ウエルネス ひこね健診クリニック



〒522-0010 滋賀県彦根市駅東町15-1 近江鉄道ビル2F
TEL **077-551-0500** FAX **077-551-0650**
●JR琵琶湖線・近江鉄道 彦根駅下車東口すぐ



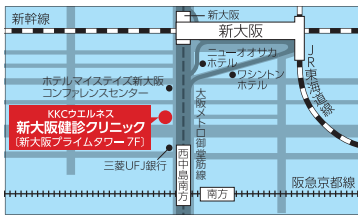
KKC ウエルネス 栗東健診クリニック



〒520-3016 滋賀県栗東市小野501-1
TEL **077-551-0500** FAX **077-551-0650**
●JR草津線 手原駅より徒歩20分
●JR琵琶湖線 草津駅よりタクシーで10分



KKC ウエルネス 新大阪健診クリニック



〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワーF
TEL **06-6397-1001** FAX **06-6397-2255**
●地下鉄御堂筋線 新大阪駅より徒歩5分 ●JR新大阪駅より徒歩7分
●阪急京都線 南方駅より徒歩5分 ●地下鉄御堂筋線 西中島南方駅より徒歩3分



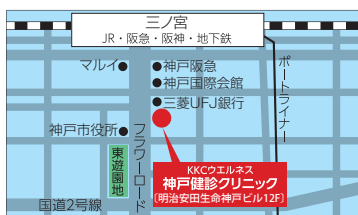
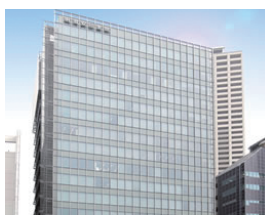
KKC ウエルネス なんば健診クリニック



〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-10-4 南海SK難波ビル10F
TEL **06-6397-1001** FAX **06-6397-2255**
●地下鉄 御堂筋線・四つ橋線・千日前線 なんば駅6番出口より徒歩1分
●南海 なんば駅より徒歩3分 ●JR・近鉄 難波駅より徒歩5分



KKC ウエルネス 神戸健診クリニック



〒651-0086 神戸市中央区磯上通 8-3-5 明治安田生命神戸ビル 12F
TEL **06-6397-1001** FAX **06-6397-2255**
●JR・阪神・阪急・地下鉄 三ノ宮駅より徒歩5分



【本部】 〒520-0812 滋賀県大津市木下町10番10号
【健康情報事務センター】 TEL : 077-525-3233 / FAX : 077-525-3900
URL : <https://www.zai-kkc.or.jp/>

主たる
登載・登録

生活習慣病予防健診実施機関
ISO9001:2015認証取得(登録No.JQA-QM5829)
日本人間ドック学会機能評価認定施設
ISO14001:2015認証取得(登録No.JQA-EM2699)
ISO/IEC27001:2013認証取得(登録No.JQA-IM1112)



この印刷物は、適切に管理された森林の木材を利用したFSC®認証紙を使用し、環境配慮型インキ(植物油インキ or ノンVOCインキ)を使用しています。また、有害な廃液を排出しない水なし印刷機を用い、その製造及び廃棄におけるCO₂排出量は東日本大震災支援型国内クレジットを活用することで、被災地を支援しています。この印刷物1部あたりのCO₂排出量は上記の通りです。

「健康モーニング」は、皆様に最新の健康管理に関する情報などを提供させて頂いております。ご不要の場合は、各事業部までご連絡をお願い致します。次号より送付を停止させて頂きます。